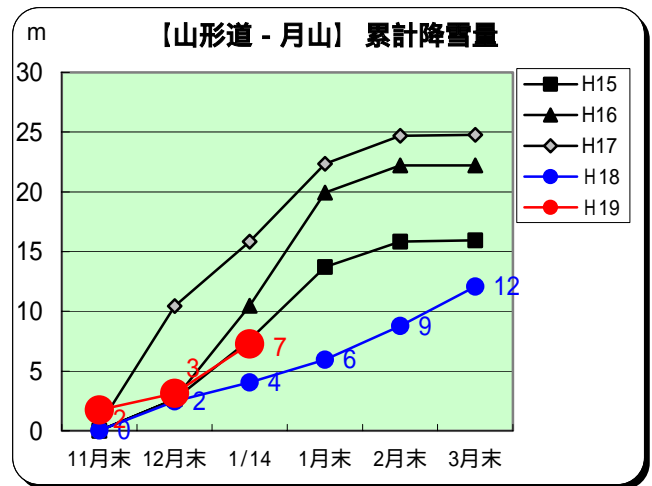
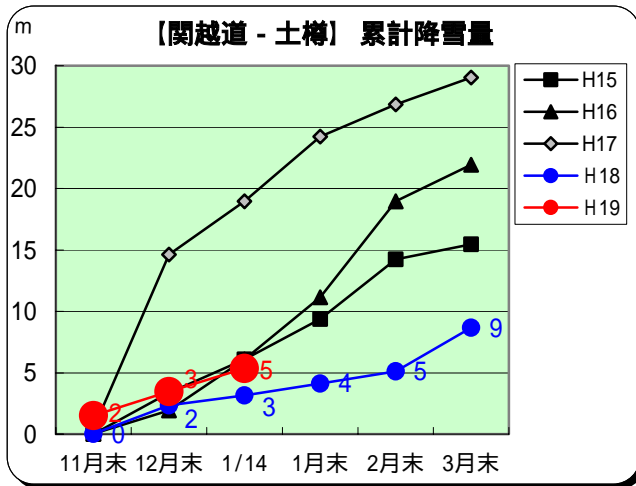


降雪の影響について

1. 降雪量

1月14日までの累計降雪量は、過去東日本管内で一番の降雪を記録した関越道の土樽で約5mであり、昨シーズンの同時期の累計降雪量(約3m)と比較して約170%となっています。また、山形道の月山では約7mであり、昨シーズンの同時期の累計降雪量(約4m)と比較して約180%となっています。



2. 降雪などによる通行止実施状況

雪による通行止量()は、平成19年11月1日から平成20年1月14日までの間で、約17,120km・hとなり、雪の影響による通行止の少なかった平成18年度の同期間よりは通行止量が増加したものの、雪の影響による通行止の多かった平成16年度及び平成17年度と比較すると、大幅に減少しております。

通行止量

通行止を実施した区間距離に通行止時間を乗じた通行止の絶対量を表す指標。

$$\text{通行止量 (km} \cdot \text{h)} = \text{通行止区間距離 (km)} \times \text{通行止延べ時間 (h)}$$

通行止量による対比 <速報値>

